

---

# EMA 啓発・教育プログラム

---

有限責任中間法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

啓発・教育プログラム部会

2008年9月4日

## はじめに

この数年でインターネットは、テレビの普及以来の新しい情報媒体として、急速に私たちの生活に浸透してきました。特に携帯電話は、いつでもどこでも使えるインターネット環境を実現しており、わが国は世界においても稀有な状況にあります。

一方で、急速な機器の普及により、他の情報媒体と異なり、加齢と反比例するようになりテラシーの格差が存在しており、青少年の携帯電話やコンテンツの利用を周囲の大人が把握し、その善悪を指導することが困難な状況でもあります。

こうした状況を背景に、残念ながらインターネットや携帯電話などの犯罪への利用、青少年被害や時として不正利用者となる事故・事件が発生しています。

青少年をインターネットにおける違法・有害情報から保護するための方策としてフィルタリングによる対策が求められています。しかしながら青少年が正しくインターネットを利用するには、保護するばかりではなく、健全な育成をすることが重要です。とりわけ携帯電話では時間や距離にかかわらず情報伝達できる非常に便利なメディアであり、社会・経済基盤の一翼を担っており、青少年が将来的に就業するにあたっても不可避なデバイスです。

EMAでは携帯電話を初めて持つ段階から、経験に応じて機器および情報媒体としての利用方法を正しく啓発・教育を施し、その利便性と共に不健全な利用による危険性を利用者自身が理解することが必須だと考えます。また、家庭内、学校、地域など青少年がかかわるあらゆる場面で、IT啓発・教育活動が実践されることで、真に健全なユビキタス社会を形成することが可能だと考えます。

EMAの啓発・教育プログラムは、青少年のみならず、保護者、教育者、地域の人々に対し、実践できるプログラムの開発、情報の収集・提供と、啓発・教育を実践する人々への支援を行って行くものです。

## IT啓発・教育推進活動の目的

### 青少年のIT啓発・教育推進

IT啓発・教育推進活動において、青少年が健全なITの利用法を身につけ、適切な対応ができる能力を養う。

### 保護者の苦手意識(デジタルデバイド)の解消

保護者がITに苦手意識をもつために起こる青少年のIT利用への無関心の解消とITへの理解の促進。

### 青少年のIT啓発・教育推進にかかわる学校等へのフォローアップ

教職員をはじめとする青少年にかかわるすべての人々が正しく青少年のIT啓発・教育を促進することができるように教材や指導案などを提供する。

### インターネット・携帯電話を健全に利用するユビキタス社会の提唱

IT啓発・教育推進活動の成果により、ITの存在を前提とし、快適かつ健全にITを活用できるユビキタス社会を実現する。

## IT啓発・教育推進活動での各者の主な役割

### 国・省庁

- 青少年のIT利用と啓発・教育におけるグランドデザインの策定
- IT啓発・教育にかかわる予算の策定と実行
- ITを活用した健全な社会の創生

### 事業者

- IT啓発・教育プログラムのサイトでの実施
- 携帯電話販売店などに対するIT啓発・教育活動の普及を指導
- 新技術・新しい機能による影響の把握と啓発・教育活動

### EMA

- IT啓発・教育の普及活動
- IT啓発・教育推進に必要なテキストの策定・認定活動
- ITの進歩、事故・事件の発生に伴うテキストの更新指導など

### 保護者

- 青少年にIT啓発・教育プログラムを受講させる
- 青少年とともに自己の啓発・教育に努め、共に学ぶ姿勢をもつ
- 青少年、および自己の啓発・教育受講状況を学校等に報告

### 学校

- 教師が協力し合いIT啓発・教育プログラムの内容に基づく指導を推進
- 教員自身の啓発・教育とリテラシーの獲得、特色ある情報教育の実施
- 青少年の受講状況の把握と達成率の向上に努める

### 地域行政

- 学校におけるIT啓発・教育推進のための支援
- 地域住民のIT相談窓口の設置と対応
- 地域・学校・保護者が協力してIT啓発・教育を行える環境の構築

## EMAの活動

### IT啓発・教育活動

- EMAは、認定サイト（コミュニティ）において、認定の条件として啓発・教育プログラムの提供を義務づけ、キャリアのメニューや販売店での啓発・教育活動の支援を行う。
- また、啓発・教育活動の意義と指導的内容を関連団体（学校・自治体・企業など）の担当者にセミナーなどを通じて啓発・教育活動を行う。家庭、学校、自治体などで啓発・教育活動に利用するためのプログラムの策定・認定を行ない、重大な事故・事件発生を受けて、適宜内容を更新する。
- プログラムを更新した場合は、速やかに関係団体や認定サイトへ周知して更新プログラムの反映を促す。

### IT啓発・教育の普及活動

- ・関連団体への啓発
- ・団体へのセミナー開催

### 啓発・教育テキストの認定

- ・児童・青少年向け
- ・保護者・地域向け
- ・教育機関・自治体向け

### テキストの更新指導

- ・事故・事件発生に伴う変更
- ・法律などの改正に伴う変更
- ・社会的変化・制度理解に伴う変更
- ・その他の事由

### プログラムの義務化と支援

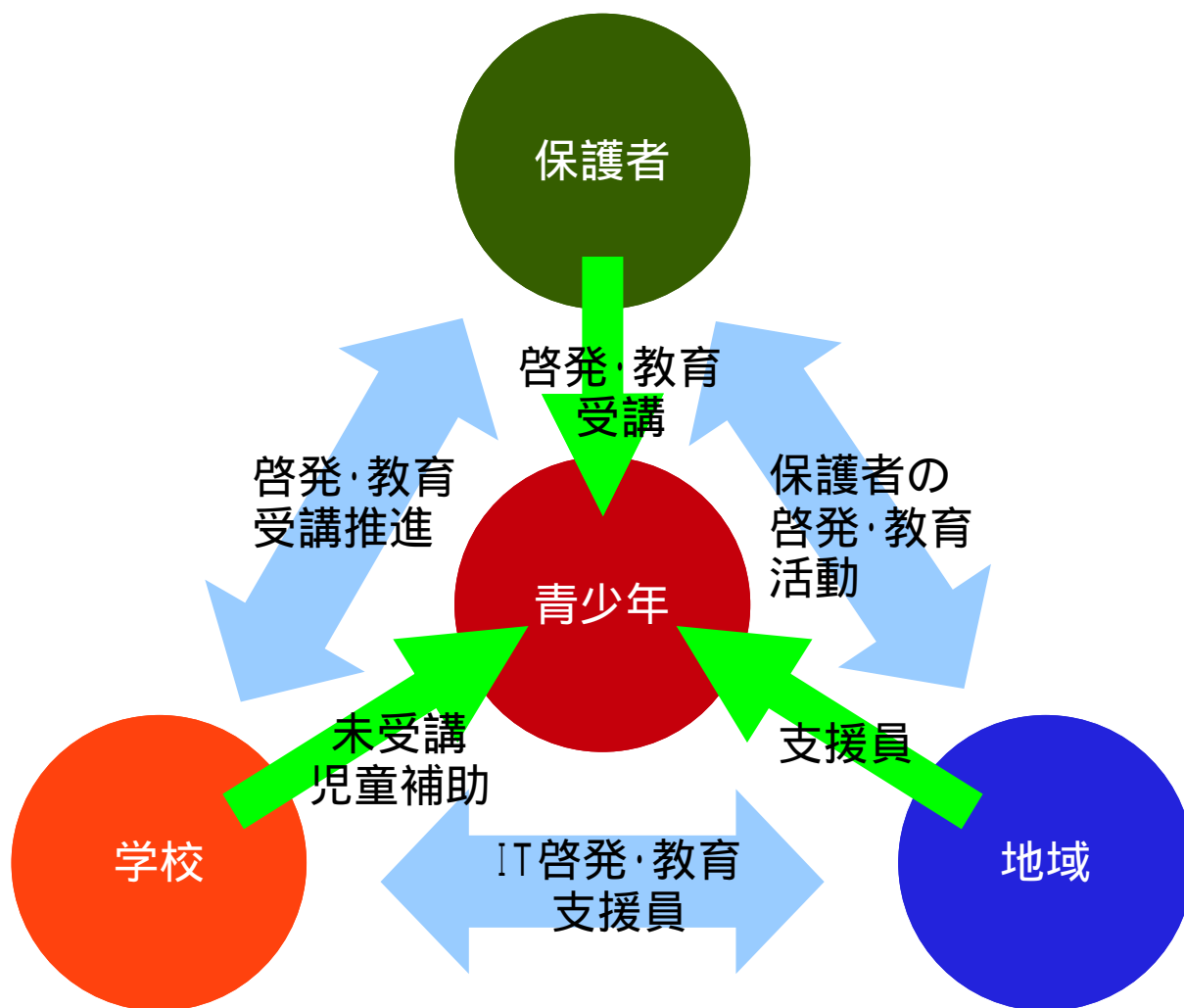
- ・認定サイト（コミュニティ）
- ・携帯キャリア
- ・放送局など他のメディア

### 事故・事件発生時の対応

- ・プログラム・テキストの変更検討
- ・関係機関への通知

## 保護者・学校・地域による連携

### 保護者・学校・地域の連携



### 保護者の役割

#### 〔IT啓発・教育の主体者〕

保護者は、家庭内において必要なIT啓発・教育を児童・青少年に受講させ、学校などの関係機関に受講状況を報告を行う。児童・青少年が受講を拒む場合には、相談窓口などと協議の上対応を行う。

### 学校の役割

#### 〔IT啓発・教育の指導〕

学校は、保護者に児童・青少年へのIT啓発・教育の実施を指導し、保護者からの相談に対応する。また、教育プログラムに変更・追加が生じた場合には、速やかに保護者に伝達をし、追加教育の実施を指導する。

### 地域の役割

#### 〔IT啓発・教育の支援〕

地域は、家庭・学校のIT啓発・教育を支援する。保護者、学校から依頼がある場合には、学校内のIT啓発・教育を教員に代わり実施する。

# 啓発・教育プログラム アクションプラン

## EMA 啓発・教育ポータルサイト

EMA認定サイトにて実施

**EMA 認定  
サイト内に設置**

EMA認定サイトを利用して、常にケータイ・インターネット利用の基本ルールをマスター



ケータイ・インターネットの歩き方  
(ケータイ5箇条)

販売店・家庭内での  
初心者向け

**ショート・ビデオ**

初めて携帯を手にする人が、販売時点で最初に理解しておいてほしいルールを学習

**ケータイ・マニフェスト**

これからケータイを利用する青少年がその使い方を家庭内で相談するためのルールづくり

継続的に精査・検討

**指導書**

ケータイ・インターネットのリテラシーを盛り込んだ指導案を使って教員や支援員の授業を支援

教員・指導者向け  
(企業CSR支援)

学校での学習向け

**ショートビデオの拡充**

販売店向けビデオに加え、ショートコンテンツの拡充により、学習教材として活用

**学習パッケージ**

ショート・ビデオコンテンツの組み合わせで、年齢や学年に合わせたパッケージづくり

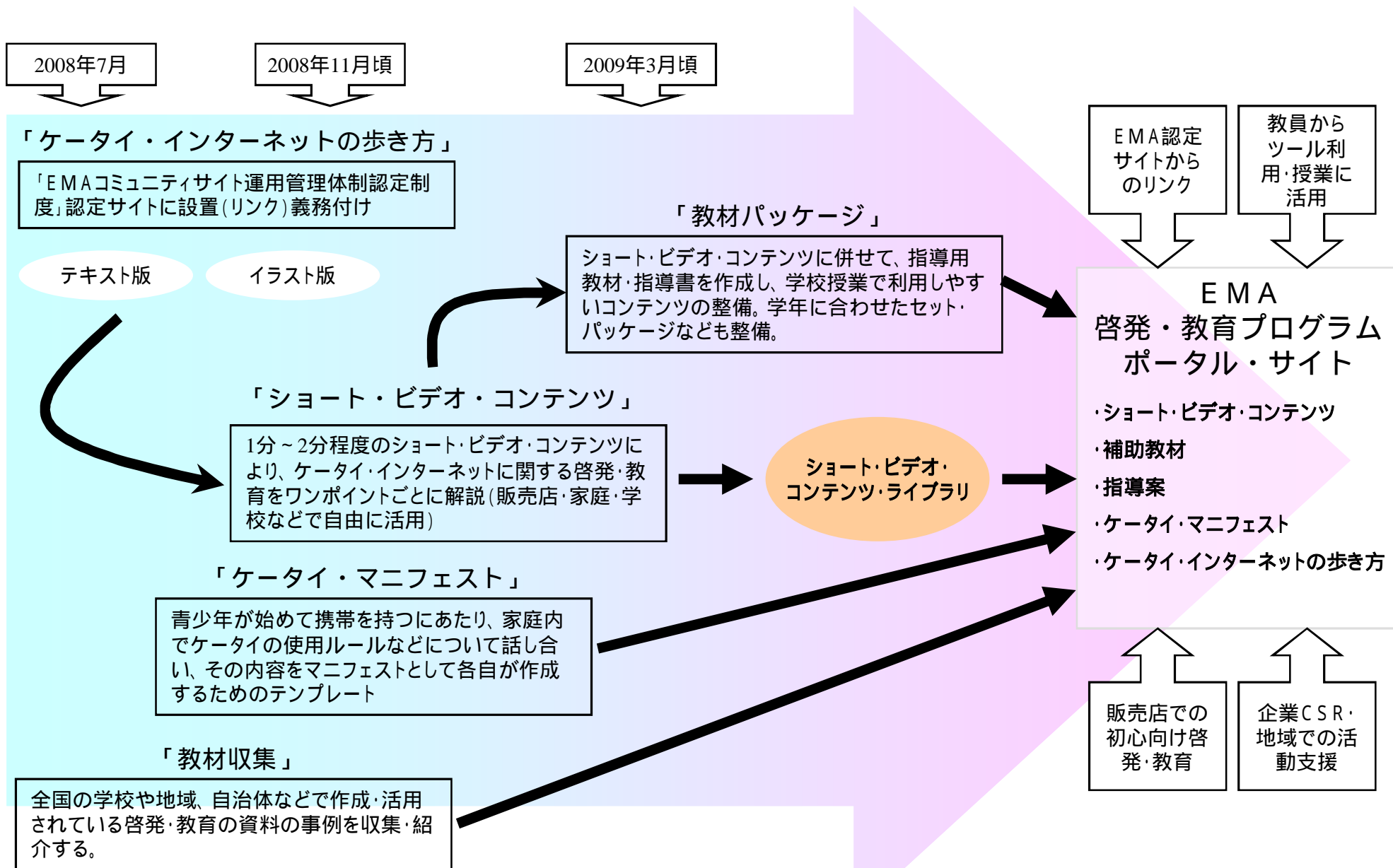


携帯電話事業者に働きかけ

コンテンツ事業者への働きかけ

教育行政・教育現場への働きかけ

# 啓発・教育プログラム開発の進め方





## Phase.1-1

# ケータイ・インターネットの歩き方

- 実施時期:2008年7月
- EMA認定サイト・EMA携帯サイトにて設置(リンク)
- ケータイ5箇条の制定
  - 1.ケータイ・インターネットとは
  - 2.情報発信者として知っておきたいこと
  - 3.ケータイ利用のためのルール作りを
  - 4.サービスを利用する前に確認・理解すべきこと
  - 5.不安を感じたら、信頼できる身近な大人や相談窓口
- FAQの掲載
  - Q:発言や投稿などをする時に注意することはありますか？
  - Q:画像や写真などを掲載する時に注意することはありますか？
  - Q:個人情報勝手に掲載され、迷惑を被っていますが、どうすれば良いのでしょうか？
  - Q:心当たりの無い内容の請求が来ましたが？
  - Q:プロフィールに本名を出さなければ、自分の顔写真を載せて学校名など書いても問題ありませんか？
  - Q:水着姿をプロフィールに載せてもいいですか？
  - Q:チェーンメール(リレー、バトンなど含む)が届きましたが、どうすれば良いですか？
- 専門相談窓口の紹介
  - インターネット・ホットラインセンター
  - 迷惑メール相談センター(財団法人 日本データ通信協会)
  - 国民生活センター
  - 国民生活センター 携帯版
  - 警察庁 インターネット安全・安心相談

## Phase.1-2 教材収集

- 実施時期:2008年8月～
- 「ケータイの啓発・教育を授業に取り入れたくても教材が見つからない」という現場の声が聞かれることから、政府、地方自治体や全国の学校独自で作成、活用されている教材を収集し、指導にあたる教員や指導員が活用できるよう支援する
  - 各省庁が作成している教材
  - 行政の補助金などを受け作成された教材
  - 自治体が作成した教材
  - 学校や教員が独自で作成した教材
  - 企業がCSR活動などで活用している教材
- 収集した教材の紹介
  - 教材を活用した事例の紹介
  - 教材作成者との連携
- 継続的な教材収集活動
  - 携帯電話やインターネットの進化に応じて最新の教材収集
- 必要に応じて自由に活用できる教材データベースの構築

## Phase.1-3

## 啓発・教育プログラム ポータルサイト

- 実施時期:2008年8月～
- ケータイ・インターネットの啓発・教育に関する総合ポータルサイト
  - EMA作成
    - ケータイ・インターネットの歩き方
    - ショート・ビデオ・コンテンツ・ライブラリ
    - 補助教材
    - 指導案
    - サンプル・パッケージ集
    - EMA作成コンテンツ活用事例紹介
  - EMA収集
    - 教材集
    - 啓発・教育事例紹介
    - 啓発・教育実施企業・団体紹介
  - 連携・リンク集
    - 外部の啓発・教育サイトへのリンク
    - EMAとの連携による啓発・教育サイト
    - 行政、自治体などへの関連リンク
- ポータル内のコンテンツを自由に活用して啓発・教育活動支援
  - 教材探しの負担を軽減
  - 事例を参考に指導内容の構成
  - 最新の技術・情報に対応した教材の取得
- 啓発・教育に関する情報発信
  - 携帯電話に関する制度や法令に関する情報
  - 各地での啓発・教育に関するトピックス紹介
  - 外国での取り組みの紹介

## Phase.2-1

## ケータイ・マニフェスト

- 実施時期:2008年10月頃
- 携帯電話販売店や学校で配布
- 携帯を初めて購入する青少年だけでなく、既に所有している青少年が、携帯電話やケータイ・インターネットの利用について、家庭内で話し合い、利用目的や費用の負担、ルールやマナーの遵守を利用者自身が宣言するためのテンプレート
- マニフェストで宣言する主な内容
  - ケータイを使うときのルールやマナーを自ら学ぶこと
  - ケータイの費用の制限や負担の取り決め
  - 「ケータイ5箇条」の遵守
  - 公約の履行に関する誓い
  - 問題発生時には、家族や大人に相談する
- ケータイ・マニフェストのねらい
  - 携帯電話を所有・利用するにあたって、家庭や学校でのルールづくり
  - 青少年が自らルールを決めて、明文化・公約することで意識を高める
  - 家庭や学校で子どものケータイ利用の実態を把握する
  - ケータイ利用に関する情報や事件について、皆で一緒に考える
  - 保護者・教員のケータイに関するリテラシーの向上

## Phase.2-2

## ショート・ビデオ・コンテンツ

- 実施時期:2008年11月頃～
- 携帯電話販売店や学校での授業、家庭内で閲覧
- 携帯電話を利用するにあって、守るべきルールやマナー、危険性、便利な機能など、様々な角度から、啓発・教育を実践できるためのビデオ・ツール
- 单元ごとに1分から2分程度のショート・ビデオ・コンテンツとし、利用目的に応じて自由に組み合わせるよう配慮
- 「ケータイインターネットの歩き方」をベースに、初めて携帯電話を持つ青少年が販売店で学ぶ最低限度の单元から制作・実践。
  - 主なコンテンツの内容
    - チェーンメールの対処
    - メール誤送信に注意
    - 知らない人からのメールは注意
    - 個人情報を安易に教えない
    - 出会い系、アダルトサイトの危険
    - コミュニティ、プロフ利用には注意して
    - ケータイは情報発信ツール
    - 発信した情報は取り消せない
    - 困ったら大人に相談 など
- 学校や地域での啓発・教育活動にも活用できるようにコンテンツを拡充
- 年齢やリテラシー、保護者や教員向けなど対象に合わせたコンテンツの拡充
- 技術や社会状況の変化に合わせて、暫時コンテンツの差し替え
- ケータイ啓発・教育ショート・ビデオ・ライブラリの形成

## Phase.3

# 教材パッケージ

- 実施時期:2009年3月頃～
- ショート・ビデオ・コンテンツを活用した学校での授業の補助ツール
  - ビデオを補う教材(リーフレット等)の作成
  - 指導案(教員向け)
- 学年や目的に合わせたサンプル・パッケージの構成
  - ショート・ビデオ・コンテンツの組み合わせモデル
  - サンプル用補助教材
  - サンプル用指導案
- 多種多様なシーンで活用できるようにサンプル・パッケージの充実
  - 学校での授業
  - 地域での啓発・教育活動
  - 保護者向け啓発・教育活動
  - 教員向け啓発・教育活動
- 活用例の紹介・サンプルへの取り込み
- 地域や企業CSR活動の啓発・教育活動への情報・資料提供による支援